

# 商 団 連

## 第314号

平成20年6月1日

1部 50円

発行所  
 全国卸商業団地協同組合連合会  
 東京都港区虎ノ門1-8-10  
 セイコー虎ノ門ビル(〒105-0001)  
 電話 03-3591-1251(代表)  
 編集発行人 北村和夫

# 第四十一回通常総会開催

## 二十年度事業計画(案)等議案審議

商団連の平成二十年度通常総会(第四十一回)は、さる五月十五日、東京・紀尾井町のホテルニューオータニ・悠の間において開催された。

総会は、午後一時半より開かれ、司会者より、会員一五人(本人出席五六人、委任状出席五九人)の出席により総会は定款三十七条に基づき有効に成立した旨宣せられ、尾池良行会長の挨拶に続き、尾池会長を議長に選出し議案審議に入った。

第一号議案 定款変更の件  
 事務局より定款変更の必要性および変更事項について説明があり、審議の結果、全員異議なく原案どおり可決承認された。

第二号議案 平成十九年度事業報告・財産目録・貸借対照表・損益計算書並びに剰余金処分(案)について承認を求めた件  
 事務局より原案の説明が行われたのち、日向野陽監事より、平成十九年度決算関係書類及び業務について監査した結果、財産管理・収支の処理・予算の執行・業務についていずれも妥当と認められる旨報告があり、審議の結果、全員異議なく原案どおり可決承認された。

第三号議案 平成二十年事業計画(案)・収支予算(案)について承認を求めた件  
 第四号議案 役員報酬決定の件、第五号議案 平成二十年度経費の賦課金徴収の承認を求めた件、第六号議案 借入金限度額の承認を求めた件の四議案が一括上程され、それぞれ

説明に基づき審議された結果、いずれも原案どおり承認された。

つづいて、第七号議案 理事・監事任期満了につき選任の件については、議長が選考方法を議場に諮ったところ満場一致で選考委員による指名推薦の方法で行うことになり、木明 優(協)札幌維新センター)、橋本昭一(協)八戸総合卸センター)、齋藤英雄(協)川越バンテアン)、佐々木光男(協)宮城維新センター)、吉木学(協)新大阪センター)、成田恭一(協)米子総合卸センター)、町田貴高知卸センター)、町田武藤嘉光(協)長崎卸センター)、八名が選考委員に選ばれ、別室において選考委員が開かれた結果、つぎの諸氏が役員に選出された旨、齋藤英雄選考委員長から報告があり、議長が議場に諮ったところ、満場一致で承認された。



通常総会風景

【理事】  
 倉光康雄(石狩新港卸センター)、橋本昭一(協)八戸総合卸センター)、松田博之(協)盛岡卸センター)、奥田潤一(協)仙台卸センター)、岡村晶夫(高崎卸商社街)、齋藤英雄(協)川越バンテアン)、福田光好(小田原卸商業団地(協)、夏目 潔(協)長野アークス、大木勝志(協)山梨県流通センター)、松崎至宏(協)静岡流通センター)、滝 幹夫(協)宮城維新卸センター)、富本昭光(協)金沢問屋センター)、

尾池良行(大阪船場織維卸商団地(協)、吉木学(協)新大阪センターイン)、西村一郎(協)大阪紙文具流通センター)、成田恭一(協)米子総合卸センター)、井上賀弘(協)松江卸センター)、貝畑雅二(協)岡山卸センター)、福井 弘(協)ベイトウン尾道)、町田 貴(高知卸センター)、谷川源信(協)福岡卸センター)、武藤嘉光(協)長崎卸センター)、萩原谷山(熊本流通団地(協)、神戸 厚(員外)

【監事】  
 岡部新一郎(南東北総合卸センター(協)、日向野 陽(協)館林総合センター)、猪瀬安次(員外)

このあと、暫時休憩を取り、別室において理事会が開催され、その結果つぎのとおり会長・副会長が選任された旨事務局より報告が行われた。

なお、玉利半三氏には引き続き相談役になっていただくことになった。

会長 尾池良行  
 副会長 成田恭一、奥田潤一、齋藤英雄、武藤嘉光、富本昭光、神戸 厚

提出議案審議終了後、尾池議長の、別紙の要望書(案)の採択について提案があり、審議の結果、全員異議なく採択され、関係機関に対し要望していくことになった。

引き続き来賓の中小企業庁次長岩井良行氏、独立行政法人中小企業基盤整備機構理事舟木 隆氏、商工中

### 要 望 書

平成20年5月  
 全国卸商業団地協同組合連合会  
 会長 尾池 良行

昭和38年に創設された店舗等集約化事業に基づいて造成された卸商業団地は、地域への商品の安定供給・雇用対策・都市計画推進等地域経済発展に大きく寄与してきたが、近年の急激な流通構造の変化並びに環境の変化で、組合員卸売業は厳しい経営環境に晒され、卸商業団地組合運営も新たな局面を迎えている。

ついで、卸商業団地組合の運営の安定と組合員たる中小卸売業の経営基盤強化のため、本連合会第41回通常総会において、下記の通り要望する。

記

- 卸売業の機能充実のための抜本的振興策を講ずる  
 我が国の卸売業は、流通の中で、販売機能、情報機能、金融機能、配送機能、保管機能等を発揮し、国内経済発展に大きく寄与してきたが、近年の流通構造の大きな変化と地域環境の著しい変化により、今日卸売業の経営を余儀なくされている。
- 卸団地の環境変化への対応を講ずる  
 卸団地は、中小企業協同組合法に基づく組織により集約化事業を実施してきたが、団地建設後40年以上を経過し、立地環境や団地周辺の外部環境は著しく変化し、また流通構造の変化により経済環境も大きく変化している。  
 このような状況下で、組合員の入替れも多く、組合員の加入退退の自由・員外利用制限等の規制や、又流手法、都市計画法による土地利用制限など、各種法律の緩和が望まれる。  
 高度化融資制度の改善を講ずる  
 高度化融資制度は、過去数次にわたり改善、改正されてきたが、組合員の入替れにともなう中小企業割合の人数要件の緩和、空き店舗対策のための制度要件の見直し、街づくりのための新たな融資制度の創設等を講ずる。

金専務理事法務人 稔氏よりそれぞれ挨拶があり、通常総会は終了した。

つづいて、商団連ビジョンについて、中間答申に基づき、ビジョン策定委員会委員の目白大学教授池田宏之氏並びに同委員長(財流通経済研究所理事長・東京経済大学名誉教授宮下正房氏)より一時間にわたり解説が行われた。

引き続き、会場を一羽の間に移し懇親会が行われ、尾池会長の開宴挨拶、全国卸商業団地対策議員懇話会会長の衆議院議員尾身幸次先生の挨拶に続き乾杯が行われ、議員懇話会の先生方及び中小企業基盤整備機構・商工中金等の幹部を交えた会員参加者と和やかな歓談が行われた。当日の主な来賓は次のとおり(敬称略)

【国会議員】(本人出席のみ)  
 ▼衆議院議員 玉澤徳一郎  
 亀岡偉民、尾身幸次、中野清、吉田六左エ門、小坂憲次、江崎鐵磨、武藤谷治、原田憲治、大塚高司、西野陽、盛山正仁、細田博之、逢沢一郎、宮澤洋一、岡本芳郎、山崎 拓、原田義昭、北村誠吾、保岡興治、宮路和男。

▼参議院議員 川谷秀善、広田 一

【関係機関】  
 ▼中小企業庁 岩井良行(次長)、高原 一郎(事業環境部長)、長尾尚人(経営支援部長)、杉浦好之(商業課長)、小松由夫(同課長補佐)  
 ▼中小企業基盤整備機構 舟木 隆(理事)、村田光司(理事)、佐味祐介(地域経済振興部長)、花沢文雄(地域振興企画課長)、中島龍三郎(同部高度化事業推進課長)。

▼商工中金 法務人 稔(専務理事)、伊藤 学(理事)、迎 洋一(理事)、柏木敏宏(人事部長)、倉重志郎(審査第二部長)、中谷肇(同部上席審査役)

## 商団連グループ保険 (会社掛) のおすすめ

※組合職員並びに会員組合員企業に勤務する従業員の方々がご加入できます。

不慮の事故による死亡の場合 750万円	※40才男性5口の場合	不慮の事故による入院の場合 1日3,750円
	掛金・月額1,410円	
病気による死亡の場合 500万円		不慮の事故による障害の場合 175万円～25万円

※ご加入手続き等詳細については、各組合事務局または商団連事務局にお問い合わせ下さい。

全国卸商業団地協同組合連合会(商団連) 委託幹事会社 住友生命保険相互会社  
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル2階  
 TEL 03-3591-1251 FAX 03-3591-1253

# 組合創立三十周年記念式典開催

## 奈良県総合卸商業団地

奈良県総合卸商業団地(協)の組合創立三十周年記念式典は、さる、二月二十一日、奈良ホテルを会場に内外関係者が出席し開催された。

式典は、午後三時半より開かれ、開会あいさつ・物故者に対する黙禱・理事長式辞・来賓紹介につき、近畿経済産業局長・奈良県

知事・独立行政法人中小企業基盤整備機構理事長・商団連会長より祝辞があり、引き続き、組合功労者並びに優良従業員の表彰等が行われ滞りなく終了、つづいて、同会場において祝賀会が開かれ、参加者一同和やかな歓談が行われた。

当日の主な表彰は以下のとおり

- ▽中小企業庁長官表彰(松岡泰夫(理事長))
- ▽中小企業基盤整備機構理事長表彰(光山忠良(副理事長))
- ▽商団連会長表彰(松並法子(理事))

# 十九年度第二回事務局長会開催

平成十九年度第二回事務局長会は、さる三月七日、東京・港区の虎ノ門パストラル「アジュールの間」において六十七団地六十九名が出席し開催された。

会議は午前十時より開始され、事務局長会棚沢一雄代表世話人の開会挨拶につき、商工中金副理事長大武郎氏の「地域でがんば

っている中小企業」と題する講演があり、独自の技術・アイデア等で世界的に活躍している中小企業の事例の紹介があり、幅広い視野に立った講演を参加者一同熱心に聴講した。

講演終了後、全員協議会が開かれ、平成十九年度事業報告並びに収支中間報告、平成二十年事業計画並び

に収支予算案、平成二十年度会費徴収案について審議が行われた結果、いずれも原案どおり承認された。

昼食をはさみ午後の研修に入り、独立行政法人中小企業基盤整備機構地域経済振興部高度化学推進課中島龍三課長より高度化制度の改善について、商工中金民営化準備室日野賀文参事役より商工中金民営化に伴う株式会社についてそれぞれ解説が行われた。引き続き、現在検討が行われている商団連ビジョンについて、はじめに同委員会委員長の(財)流通経済研究所理事長・東京経済大学名誉教授宮下正房氏より商団連ビジョン検討の目的等について、の基調報告、同委員横濱浜科大学教授橋本雅隆氏より商団連が過去に行った調査についての分析、同委員白木大学教授菊池宏之氏より今回のアンケート調査の内容についてそれぞれ説明があった後、商団連に望むこと等について意見交換が行われ研修を終了した。



なお当日、任期満了に伴う事務局長の世話人・監事の改選が行われ、各プロックより推薦された新たな世話人・監事が決定した。

(世話人)

- 林 隆征(協)札幌総合卸センター(協)板垣文弘(協)仙台卸商センター(協)佐藤晋(南東北総合卸センター)
- (協)川岸一義(高崎卸商社街協)、森 昭弘(協)横浜マーチャントインジゲンセンター(協)、石田 彌(協)山梨県流通センター(協)、尾関賢二(協)宮城卸センター(協)、柳瀬彰一(協)金沢問屋センター(協)、田村正喜(大阪船場繊維卸商団地協)
- 並河俊夫(阪神総合卸商業団地協)、田中静男(協)松江流通センター(協)、松橋輝明(下関問屋センター協)、植野陽雄(高知卸商センター協)、田中長光(協)長崎卸センター(協)、犬童勝己(協)延岡卸商業センター(協)、神戸 厚(商団連)
- (監事)
- 佐藤 裕(新潟リッセル協)、杉山 修(協)沼津卸商社センター

# 山陰地区卸商業団地

## 連絡協議会総会開催

山陰地区卸商業団地連絡協議会の第二十三回通常総会は、さる、二月十五日、島根県浜田市のはまだワシントンホテルプラザにおいて、九団地十九名が出席し開催された。

総会は、当協議会会長の浜田卸商業(協)吉田 稔理理事長の挨拶、来賓紹介につき議案審議に入り、第一号議案(平成十九年度事業

報告および収支決算案承認の件、第二号議案(平成二十年事業計画案および収支決算案承認の件、第三号議案(平成二十年度会費徴収額決定の件、第四号議案(次期役員および開催地確認の件)の四議案が審議され、いずれも原案どおり承認され、次期会長として(協)米子総合卸センター(成田恭一理事長より挨拶が

あり総会を終了。引き続き研修会に移り、商工中金松江支店杉山 浩支店長より「山陰の経済動向等について」と題して講演が行われた。

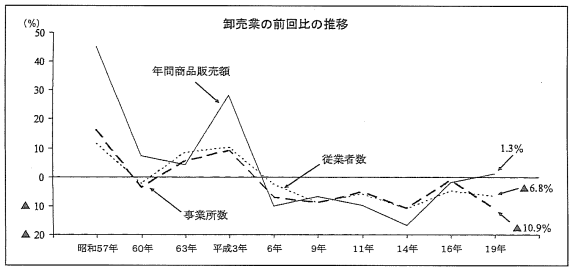
総会・研修会終了後懇親会が開かれ、地元浜田市、浜田商工会議所の来賓を交えなごやかな歓談が行われた。

# 卸売業・事業所数、就業者とも減少、商品販売額は増加

## 商業統計速報

経済産業省は、先頃、昨年六月一日現在で実施した商業統計調査の速報を発表したが、卸売業・小売業の事業所数は一四七万事業所(平成十六年比八・八%減)、年間商品販売額は五五兆円(同・二%増)で、その内卸売業は、事業所数三三三、二四〇(対十六年比一〇・九%減)、年間販売額四、〇六、七八九億円(対十六年比一・三%増)となっており、就業者数は三六四万人(他からの派遣・受入れ者を含む)で、十六年比八・六%の減となっている。

業種別に見ると、事業所数では、化学製品卸売業を除き幹並み減となっており、



(一九・四%減)、食料・飲料卸売業(一五・二%減)等となっており、一方、年間販売額においては、原材料価格の高騰等により、再生資源卸売業(対十六年比八五・六%増)、鉱物・金属材料卸売業(四三・八%増)等八業種で増加している。

政府は、先ごろ春の叙勲・褒章受章者を発表したが、卸団地関係では、つぎの方々が受賞された。(経済産業省関係のみ)

- ▽旭日小綬賞(橋本昭一(協)八戸総合卸センター)理事長、商団連理事)
- ▽旭日双光賞(岩崎康弘(協)福岡問屋センター)前理事長、商団連前理事)

○基金加入事業所数	1,267件		
○加入員数	(男) 20,299人	(女) 8,555人	(合計) 28,854人
○年金受給権者数	(男) 10,254人	(女) 4,865人	(合計) 15,119人
○慶弔金件数	結婚祝金 44件	弔慰金 4件	

# 一緒に育つ。

中小企業のお役に立ちます。

商工中金